

自己評価項目一覧

—園長編—

2023年度

苫小牧聖ルカ幼稚園

<評価基準> A おおむね良い B 普通 C 改善を要する

評価分類			内 容	評価
I 教育内容	1	保育の計画	① 建学の精神に基づき教育理念や教育目標を明文化している	A
			② 教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成している	A
			③ 社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し必要に応じて教育課程の見直しを行なっている	A
			④ 幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行なっている	A
	2	教職員体制の充実	① 教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行なっている	A
			② 指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくっている	A
			③ 教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保している	A
	3	指導の在り方	① 環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成している	A
			② 幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境構成している	A
			③ 幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている	B
			④ 幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行なっている	A
			⑤ 教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行なっている	B
			⑥ 遊びを通しての総合的な指導を行なっている	A
			⑦ 障がいのある幼児に対して、家庭や関係機関と連携しながらその状態に応じた指導内容や指導方法の工夫をしている	A
			⑧ 子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図っている	B
	4	研修や研究	① 教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行なっている	B
			② 教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保している	A

			③ 個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとっている	B
Ⅱ 地域の幼児 教育センタ ーとしての 役割	1	子育ての支援	① 子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施している	A
			② さまざまな教育に関する相談を受け入れている	A
			③ 子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整えている	A
	2	預かり保育	① 教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行なっている	A
			② 預かり保育を担当する教師の体制を整えている	A
Ⅲ 安全管理	1	外部侵入者・来訪者などに対する安全対策	① 幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整えている	A
	2	施設・設備・園児に対する安全対策	① 地震などの自然災害に対する防災対策を整えている	A
			② 幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努めている	A
			③ 消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施している	A
			④ 防火管理者を定めて防火管理を行っている	A
			⑤ 設備や遊具の点検を定期的に行っている	A
	3	衛生管理	① 幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努めている	A
			② 学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施している	B
			③ 学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施している	A
			④ 学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応している	A
			⑤ 学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置いている	A
Ⅳ 人事管理	1	園の教育目標達成のための人事	① 幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行っている	B
			② 幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努めている	A
	2	教職員の雇用条件	① 労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示している	A
			② 私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努めている	A
	3	就業規則に基づく労務管理	① 労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出ている	A
	4	教職員の健康管理	① 学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施している	A

V 財務管理	1	予算作成及び予算管理	① 学校法人会計基準に基づき、予算書を作成している	A
			② 月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得ている	A
	2	決算	① 学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成している	A
			② 決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出ている	A
	3	納付金算定	① 園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにしている	A
	4	物品購入	① 教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理している	B
VI 評価と情報の公開	1	評価	① 重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行っている	A
			② 自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方策を自己評価の結果報告書にまとめている	A
			③ 学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行っている	B
	2	情報の公開	① 幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供している	A
			② 公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにしている	A
			③ 自己評価の結果を公表している	A
			④ 学校関係者評価の結果を公表している	B
			⑤ 幼稚園幼児指導要録の抄本・写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図っている	A

2023年度 自己評価（園長編）の結果及び改善策

Ⅰ「教育内容」についての評価結果及び改善策

- ・多くの制約の上で教育活動を行ってきた3年間のコロナ禍を経て、今年度はその必要が緩んだ中での活動が増えたものの、これまでに見直した教育内容は随分と精査された。日々行事に追われていた子どもたちだったが、一つ一つの活動に十分取り組めるよう時間にゆとりをつくったことで、子どもたちがステップを踏んで力をつけ、達成感を味わうことができるようになった。一方で保護者参加の声に可能な限り応えたいと思う反面、この数年の2・3号認定園児増加傾向にある。また、保護者が休みを取りづらくなっていることも現状としてある中で保育参観を求める声に応えられるよう十分検討し提示していきたい。
- ・可能な限り子どもたちの主体性を育む関わりを重視した保育内容を大切にした。多様な社会で生き抜くために必要な力、自分で考えて想像（創造）する、個々の多様性を当たり前とし、それらを認める心の育みをこれからも大切にする教育と保育の推進に努める。
- ・教育内容が幼児の実態を踏まえて計画されているか、適切であるか確認するシステムの構築に努める。
- ・子どもたちの心身の成長を願い喜ぶ保育のための苦労は惜しまない。

Ⅱ「地域の幼児教育センターとしての役割」についての評価結果及び課題

- ・1号認定園児獲得が課題。地域に開かれる施設、選ばれる幼児施設を目指し発信力を高めていく。また、子育て支援事業充実化を図っていく。
- ・地域に根差した幼児施設となるよう、地域施設との交流、周辺のごみ拾いなど環境保全活動の取り組みも精力的に行っていく。

Ⅲ「安全管理」についての評価結果及び改善策

- ・8月、送迎バス3台全てに置き去り防止安全装置設置。1台は窓をクリアガラスに取替。
- ・施設内外、遊具等の定期点検の習慣化で安全管理に努める。
- ・保育の質を高め、子どもたちを危険から回避させる安全な保育の徹底に努める。
- ・様々な状況を想定した避難訓練の計画、実施に努める。
- ・小さなミス、小さな気づきを教職員間でしっかり情報共有し、繰り返し起こさないよう自分たちの保育の在り方を検証しながら、日々危機管理を意識できる体制と報連相を徹底。
- ・個人情報管理と漏洩防止の徹底。守秘義務の徹底

IV 「人事管理」についての評価結果及び改善策

- ・教職員が気持ちよく働ける風通しの良い環境づくりに努める。
- ・子どもたち全てに分け隔てない同様の関りがもてるような職員教育に努める。
- ・保育時間を充実させるための業務改善に努め、効率良い人員配置を行っていく。

V 「財務管理」についての評価結果及び改善策

- ・常に子どもたちの教育・保育環境を準備できる潤沢な資金確保の実現には厳しい状況。
認定園児の定員が満たされなかったことが要因の一つ。園児確保のためには未就園児獲得も重要であり、子育て支援事業の在り方から見直す必要性があると考える。
- ・次年度より 2 号園児定員を増員し、受け入れ枠を広げることで園児獲得を図り、そのための体制もしっかり整備していく。
- ・無駄を省く（ICT 推進＝紙媒体削減、ごみ削減、節電、再利用で環境保全に貢献、節約）

VI 「評価と情報の公開」についての評価結果及び改善策

- ・保護者からは概ね好意的に受け入れられているが、2 号園児受け入れや預かり保育、行事参加に関わるニーズに十分応えられていない課題が残る。
- ・地域に開かれた施設、地域に選ばれる施設、利用者ニーズに可能な限り応えられる施設を目指す。
- ・園の理念に対して十分に理解されるよう、丁寧に説明し、丁寧な保育を行っていく。
- ・学校評価は第三者評価を受け、ホームページ上に公開する。